

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和5年8月2日(2023.8.2)

【国際公開番号】WO2021/006277
 【出願番号】特願2021-530706(P2021-530706)

【国際特許分類】

A 4 6 B 5/00(2006.01)

【F I】

A 4 6 B 5/00 C

A 4 6 B 5/00 B

10

【手続補正書】

【提出日】令和5年7月25日(2023.7.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

20

【請求項1】

植毛面と、当該植毛面に垂直に植設された複数の毛束とを有するブラシ部と、該ブラシ部に延設された把持部とを備え、前記ブラシ部の前記複数の毛束は、前記植毛面において、前記ブラシ部の長手方向に前記毛束が並んで配置された毛束列を複数含んで構成され、複数の前記毛束列は、互いに平行に、かつ前記前記ブラシ部の短手方向に所定の間隔を空けて配置され、かつ当該毛束列のそれぞれに含まれる複数の毛束が中央に近づくに連れて高くなるように山型に傾斜して形成された歯ブラシであって、

前記ブラシ部と前記把持部とをそれぞれ別体に構成し、両者を着脱可能に連結一体化して成り、

30

前記ブラシ部と前記把持部の一方に差込プレートと係合凸部を形成し、他方に差込溝と係合凹部を形成し、前記差込プレートを前記差込溝に差し込み、前記係合凸部を前記係合凹部に係合させることによって、前記ブラシ部と前記把持部とを着脱可能に連結一体化し、前記差込プレートは、前記植毛面に平行な主面を有し、

前記係合凸部は、前記差込プレートの前記主面から垂直に突設され、前記短手方向に膨出した膨出領域を有する

ことを特徴とする歯ブラシ。

【請求項2】

前記差込プレートは、前記把持部に挿入される先端側の幅が基端側の幅よりも短い台形プレート状である

40

ことを特徴とする歯ブラシ。

50